

「自分ための豊かな時間」を 生きるため、たたかおう！

大阪労連は6月15日に国労大阪会館で組織集会を開催し、この1年間の組織拡大・強化の取り組みの交流をすすめました。

集会では、組織拡大が特別なことではなく、日常の中での対話やつながりから信頼が高まり加入がすすんでいくまじょう。

すんでいると報告があり、組合員に依拠して、結成30周年を迎える定期大会までに仲間を増やそうと決意を固めました。

たたかう労働組合・大阪労連を大きくして、職場要求の実現をすすめていきましょう。

学習と交流でパワーアップ！

福祉保育労

福祉保育労大阪地方本部は、5月19日に大阪市内でパワーアップ学習会を開催しました。

これは、組合役員力の強化・向上を目指し役員向けの学習会で、毎年開催しています。過去には合宿形式でじっくり学習交流もしていましたが、交代勤務が多い福祉労働者が参加しようと思える設定を模索し、今回は、日曜日の10時半〜16時半



とはいえ、腰を据えた学びも必要という事で、メイン講演では全労連から黒澤幸一事務局長をお招きし、働き方改革が何を目指し職場からどう反撃すればいいのか、正面から学びました。

生活とやりたい仕事の両立を目指しても、生活がすぐ後回しになる福祉職場の特徴をふまえ、長時間、少人数で、過密に

頑張らせて儲ける仕組みが強化され、雇用責任を限りなくゼロにし、労働者を自己責任で際限なく働かせるのが安倍政権の働き方改革。組合の組織率が下がれば賃金が下がりが非正規雇用が増える事を歴史的な統計で知り、

青年部企画「阪堺電車でGO」

府職労

「ちん電」の愛称で親しまれている「阪堺電車」―天王寺と浜寺公園を結ぶ路面電車です。

府職労青年部は、この電車の車両をまるまる貸し切って、新歓イベントを開催しました。

6月6日(木)出発地点の天王寺駅には、大阪府、府立病院、府立研究所の各職場から青年40人が続々と集まり、定員満員で浜寺公園駅へ向けて出発しました。

ここ数年の府職労の新歓イベントは、本部が主導し、青年部が協力する形で実施されてきました。青年部の会議で話し合いを進める中で「今年度は青年部として主体的にやりたい」「青年だけを集めて成功させたい」という意見でみんなが一致し、今回の「阪堺電車でGO!!」の開催に至りました。

たたかひの必要を共有しました。

参加者からは「今後は春闘の要求書を見せ、要求を実現するために組合に入って欲しいときちんと伝える」など、積極的な感想が多数寄せられました。



午後5時の分科会では、サービスマンとして36協定を活用すること、非正規雇用改善の闘いは同時に正規雇用の守ること、簡単にはうまいかない組合活動の悩みの共有などを学習・交流し、充実した取り組みとなりました。

車内では、ゲームなどの企画は行わず、青年部役員が準備した飲み物と食事、スイーツを食べながら、仕事や職場で困っていること、不満を感じていることなどをみんなが話しました。途中の我孫子道駅では、電車をバックに記念撮影も行い、車内の盛り上がりは絶えることなく、楽しく交流しました。

参加者からは「若い人だけでこんなに集まって話す機会はないので本当に楽しかった」「若手職員が自分たちで取り組みをしている組合ってすごい！楽しめる組合だと思った」などの感想が寄せられました。

大阪労働局交渉

普通に生活するには 時間給1500円はあたりまえ！

6月4日、大阪労連は「最賃1500円以上への引き上げ、全国一律最賃制度の法制化、最賃審議会の公開性を求め」大阪労働局と交渉を行いました。

はじめに、最賃引き上げを求める署名も個人3459筆、28団体も提出し、菅義人議長から自民党の中でも全国一律最賃制度を求める声も出ていること、全国の仲間が生計調査を行い、時間給換算すると1600円台になっていることを紹介し、最低賃金の大幅引き上げを求めました。また、大阪の労働者側最賃審議員で大阪労連から選ばれなかった理由を求めました。



▲毎月の京橋での宣伝でも署名が集まる

大阪労連は「大阪地方最低審議員の任命については総合的に勘案して選んでいる。時間給1500円以上、月額1万2000円以上、月額24万円以上に引き上げることについては審議会へ報告すると同時に中央の目安委員会が開かれるまでに本庁にも伝える」と回答。

参加者からの「福祉労働者の代表がなぜ選ばれなかったのか」「職場への実施調査を行っている」と聞かされたが、労働者の生活実態が反映されているのか公開すべき「審議会



▲最賃引き上げを求め労働局交渉が行われた

大阪労連は引き続き組合員のみならずともに最賃署名を積み上げ、ただちに1000円、1500円を求め取り組みをすすめていきます。

職場で活かしたい

大阪労働健康安全センターは第26回安全衛生基礎講座を5月18日(土)・25日(土)午後開催しました。職場のハラスメントや夜勤と睡眠、労安活動の基礎や安全問題について4講座をじっくりと学びました。グループ討議を取り入れた講義



参加者からは「職場の労働安全の視点を学んだ」「職場で活用していきたい」と職場の実践へ思いを強めました。

国労大阪会館を
研修・学習会などにご利用ください
JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ
◆身障者用昇降機設置
お申し込みは ☎06(6354)0661
〒530-0034 大阪市北区錦町2-2

働きやすい職場へ



5月20日、大阪労連青年部は青年部委員会&学習会を国労大阪会館で開催。学習会では講師の藤野ゆき職対連事務局長から事例を基にパワーハラについてわかりやすく話され、グループに分かれディスカッションを行い、終了後も交流を深めました。

カジノより



統一地方選挙後はじめての府議会が開かれる5月23日に、大阪労連も参加する府民要求連絡会は早朝宣伝、議会要請、府庁前ランチタイム集会&パレードなどを行いました。パレードでは、カジノより教育、医療、福祉の充実を！と呼びかけました。

争議を直ちに解決しろ



5月24日、早朝宣伝から始まった春の争議支援行動では、解雇争議をたたかう関西大学やにちほHDへの要請行動、賃金不払いをはじめ数々の不当労働行為とたたかうアクアラインへの社前行動などが行われ、争議の早期解決を求めました。

新たな市民運動展開へ



6月9日、大阪憲法会議は大阪市内で憲法大学学習会を開催。講師の中晃一上智大学教授(立憲デモクラシーの会)は、改憲の国会発議をさせない野党の共闘は市民の後押しがあるから。夏の参議院選挙は正念場、勝利するために頑張ろうと呼びかけました。